

自律的対話能力向上のための 工学教育実践と授業マニュアルの作成

交通計画研究室 H05037 小竹輝幸
H05056 関根孝太
指導教員 岩倉成志



1. 背景と目的

社会的にコミュニケーション能力への関心が高まっている

土木分野
専門性の異なる立場の人たちとの議論が頻繁にある

コミュニケーションを支援するファシリテーター等の第三者による議論支援が注目されており、その養成も行われている

しかし
土木技術者自身が第三者に頼らずに自らの言葉で対話を行う能力(自律的対話能力)も必要である

本研究室では
自律的対話能力を育成する授業を行い、**教育効果を確認**

この授業には様々な工夫があり授業効果を落とさずに実施するには**マニュアルが必要**である

本研究の目的
授業実践を行いマニュアルを作成する

2. 授業の特徴とその効果

① **自律的対話能力**は抽象的な概念や座学だけでは身につかない

② 4つのステップを繰り返し、「**振り返り**」を行うことで自らが修正すべき対話能力への「**気づき**」を得る

2. 授業の特徴とその効果

授業を受けた学生の感想

- お互いの**意見の尊重**を考えた
- 意見を正確に**伝える事は難しい**
- **聴き方**にも気を使う必要がある
- 通年でもやりたい
- よい刺激になりました
- 周りにも**目を向ける**必要がある
- **意見交換の重要性**を感じた

3. マニュアルの作成方法

実践からの知見

- 時間配分
- 配布物の配布タイミング
- 教員の教示事例
- 振り返り例
- etc...

アンケート結果

コミュニケーションに関する**気づき**を得た

53/56名
(3名無回答)

授業実践①

土木ゼミナール

授業実践②

土木ゼミナール

授業実践③

土木総合講義

授業実践④

総合演習3

マニュアル

成果物

平成20年度

自律的対話能力向上のための
授業マニュアル

芝浦工業大学工学部土木工学科交通計画研究室
H05037 小竹 輝幸
H05056 関根 孝太

ワークショップ実践プログラム「L&SL 授業支援システム ver.0.1」
TA用マニュアル ver.0.1

この授業は、学生がディスカッションやプレゼンテーションを行い、学習していくことを基本としたワークショップ型授業です。この授業は各自に授業の形式が異なるため、スケジュールも異なります。よって教員をサポートするTAの役割は**重要**です。本マニュアルはそんなTAのために授業の内容やTAの役割をまとめたものです。これを参考にし、授業に役立ててください。

1. 本授業のTAの役割

- ①資料の印刷・配布 (配布資料を授業前に準備し、手取りよく配布しましょう)
- ②時間管理 (タイムテーブルを頭に入れておきましょう)
- ③教室のセッティング (机・椅子などの配置を把握・準備しましょう)
- ④先生との連絡・調整 (自分判断せず、先生に相談、確認しましょう)

2. TAガイドライン早見表

- ①授業中参照ページ p.1~1.0
- ②授業準備中参照ページ p.1.1~2.1

ワークショップ実践プログラム「L&SL 授業支援システム ver.0.1」
TA用マニュアル (簡易版) ver.0.1

この授業は、学生がディスカッションやプレゼンテーションを行い、学習していくことを基本としたワークショップ型授業です。この授業は各自に授業の形式が異なるため、スケジュールも異なります。よって教員をサポートするTAの役割は**重要**です。本マニュアルはそんなTAのために授業の内容やTAの役割をまとめたものです。これを参考にし、授業に役立ててください。

本授業のTAの役割

- ①資料の印刷・配布 (配布資料を授業前に準備し、手取りよく配布しましょう)
- ②時間管理 (タイムテーブルを頭に入れておきましょう)
- ③教室のセッティング (机・椅子などの配置を把握・準備しましょう)
- ④先生との連絡・調整 (自分判断せず、先生に相談、確認しましょう)